仕　様

電源電圧		DC24V
消費電流	警戒時最大	3mA
	警報時最大	38mA
使用周囲温度		−10℃～+50℃
質量		1.1 kg

連絡先一覧表 施工店や点検契約店など、記入されておくと便利です。

点検契約店	TEL
施　工　店	TEL
設備竣工	年　月　日

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

電話 0120-283338 FAX 0120-551626

8A3 G04 00001 0712-0A

Panasonic

P型2級用副受信機 5回線内器

品番 BVJ62051HK

取扱説明書

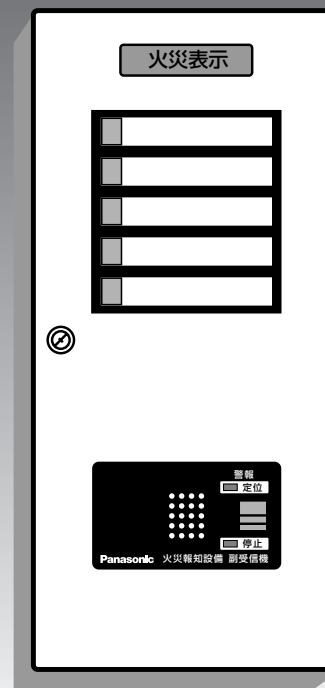
保管用　屋内専用

施工説明書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

ご使用前に

- この設備は、自動火災報知設備などからの信号を受けて火災の発生を報知する働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。
  万一の火災などによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- この設備は皆様の生命・財産を火災から守るための大切な設備です。
  取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

	してはいけない内容です。

	実行しなければならない内容です。

⚠警告

 禁止	**●保守・点検以外で、警報停止スイッチを「停止」側にしない。** 火災時に警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。 **●防火管理者および消防設備士などの資格者以外は副受信機内部に手を触れない。** 感電・故障の原因となります。
 ぬれ手禁止	**●ぬれた手で副受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。** 感電・故障の原因となります。
 分解禁止	**●機器を分解したり、修理・改造はしない。** 故障の原因となります。

お手入れ方法

⚠注意

 必ず守る	**●清掃時、副受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。** 正常な監視状態でないと火災時に正しく動作しません。 「平常時の副受信機の状態」を確認してください。

■表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。

- **ふだんのおそうじは…**
  やわらかい布でふき取ってください。
- **汚れが目立つときは**
  中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
  （化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。）

ベンジンなどは引火性があるため危険ですので、使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

⚠警告

- **防火管理者および消防設備士などの資格者以外は副受信機内部に手を触れない。**
  感電・故障の原因となります。

平常時の副受信機の状態

⚠注意

- **副受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。**
  正常な監視状態でないと火災時に正しく動作しません。

- 火災が発生したとき、副受信機が正常に作動するよう、平常時は右図の状態であることをお確かめください。
  平常時において右図のような状態とならない場合は、「異常時の点検・処置」の内容を確認のうえ点検契約店にご連絡ください。

副受信機が警報した場合

■ブザーが鳴ったら、次の手順で操作してください。

1 警報停止スイッチを「停止」側にし、ブザーを止める。

受信機側からは、副受信機のブザーは止められません。

2 地区灯(赤)の点灯位置によってどこで火災が起きているか確かめます。

出火場所へ行き状況を確認する

火災のとき

火災のとき

3 火災の場合は‥

- 119番に通報した後、避難誘導や初期消火など適切な処置をしてください。

4 火災鎮火後、警報停止スイッチを「定位」側にし、通常の状態に戻します。

火災でないとき

火災でないとき

■感知器は火災でないときでも作動することがあります。

煙感知器	水蒸気、ホコリ、調理の煙などでも作動することがあります。
熱感知器	ストーブなど暖房の熱が直接当たったり、感熱部が変形すると作動することがあります。

3 地区灯の点灯している警戒場所で、次の状況を確かめ処置する。

①感知器が作動していないか？
確認灯付感知器の場合、作動した感知器の確認灯が点灯します。

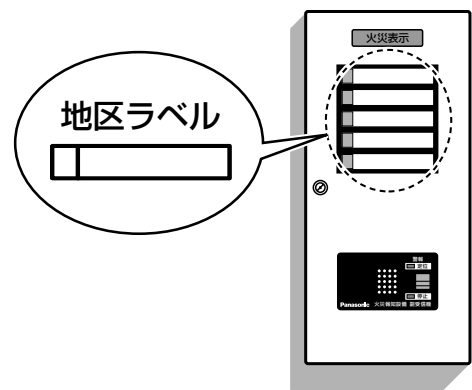
処置 作動した感知器から煙または熱を取り去ってください。

②発信機の押ボタンが押されたままになっていないか？

処置 発信機の押ボタンを元に戻してください。

4 警報停止スイッチを「定位」側にし、通常の状態に戻します。

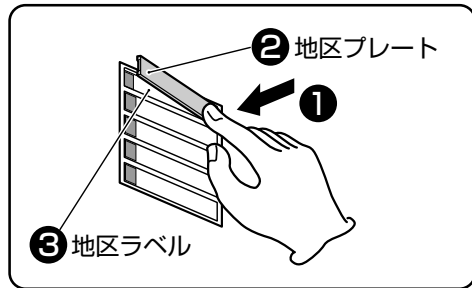
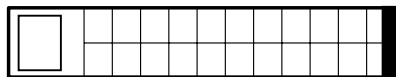
- 地区灯が消えない場合や処置できない場合は、点検契約店へご相談ください。

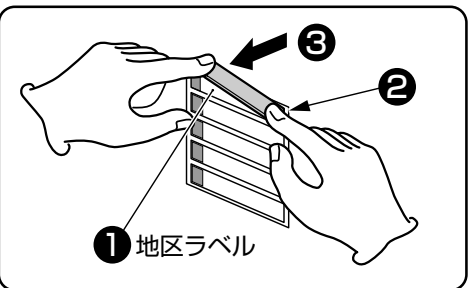
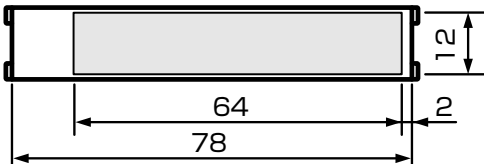
地区ラベルの交換

●地区ラベル（BV9957）（別売）、地区プレート（BV9956）（別売）については当社営業所へお問い合わせください。

取りはずす場合

❶ 地区プレートの右端を押す。（左端が持ち上がります。）
❷ 地区プレートの左端を持ち取りはずす。
❸ 次に地区ラベルを取りはずす。

取り付ける場合

❶ 地区ラベルを挿入する。
❷ 地区プレートの右端を押す。
❸ 地区プレートの右端を押したまま、左端を差し込む。
❹ 右端をはなしたあと、左端をはなす。

地区ラベルについて

名称の先頭をそろえるとき…

●図のように、裏面に位置決めのための印がついています。表から薄く見えますので、ご活用ください。

地区プレートに彫刻をする場合

部内に彫刻する。（単位＝mm）

日常点検

⚠注意

必ず守る

●日常、次の点検を行う。

1.「平常時の副受信機の状態」に保たれているか？
2. 近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？
緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、作動遅れ、誤動作の原因となります。

機器に異常が見つかった場合は、点検契約店へご連絡ください

異常時の点検・処置

⚠警告

必ず守る

●この設備に異常があるときは以下の点検・処置をする。
異常を放置すると火災時に警報がでないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

状　　態	点　　検	処　　置
定位スイッチ灯、停止スイッチ灯の両方が消えている	接続してある受信機内の交流電源スイッチが「切」側になっていないか？	接続してある受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	受信機ー副受信機間の配線が正しく接続されているか？	配線を直す。
受信機の発報状態と副受信機の状態が連動していない	受信機ー副受信機間の配線が正しく接続されているか？	配線を直す。